

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年9月8日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

新・人間裁判 原告予定者が175人に

集会で生活保護の実態の訴えはじまる

北海道でも、生活保護基準引き下げの中止を求める「新・人間裁判」が準備されています。すでに175人が原告になることを決意しています。

生活保護制度を良くする会では、裁判へご支援を呼びかけています。①団体の総会、役員会等で、「新・人間裁判」に対する「支持（支援）決議」／②「生活保護制度を良くする会」に入会、応分の募金／③生活保護、裁判についての「学習会」を計画などをお願いします。会では、要請に応じて、講師や原告（予定者）を派遣します。

原告（予定者）が集会での訴えをはじめています。8月23日の中央区革新懇の総会（田村欣英さん）、8月30日の北海道民医連の集会（高橋千佳子さん）で訴えました。



9月13日（土）12時～、札幌中心街で、宣伝行動を行います。

「就学援助」の対象の縮小はやめて！拡充を！

釧路でつどい・署名提出

生活保護基準の引き下げにより、生活保護基準に連動する「就学援助」制度などへの影響が心配されます。

釧路市の就学援助制度基準の引き下げと拡充を求める会は、市議会への署名に取り組んでいますが、8月28日、要望書と署名1530筆（1次分）を提出しました。



8月2日に行われた「市民のつどい」での、就学援助利用者の発言

- 3人の小学生を育てている方：「学校では、リコーダーでも絵具セットでも何でも3人分必要で何かとお金がかかる。教育にかかる費用はゼロにしてほしい」
- 乳幼児を連れた参加された方：「夫婦で働いていても生活は大変。就学援助を申請して認定されるまでは給食費なども払わなくてはならず、認定されるかドキドキしました」

最低賃金の大幅引き上げを！北海道の最低賃金が748円（わずか14円増）



8月28日、北海道労働局は、2014年度の北海道の最低賃金を時間額734円から、わずかに14円引き上げ748円にすると決定しました。生活保護との「逆転現象」を解消したといいますが、フルパートで年間155万円、物価が4%上がっているのに、最賃は2%増です。人間らしい生活ができる金額ではありません

道労連は、8月12日に示された北海道地方最低賃金審査会この改定額（案）に対して異議申し立て、この申出を審議する審議会会場前で宣伝しました（写真）。

9月9日 雇用・くらしの街頭相談会

暮らしが大変です。相談無料です

時間：10時～18時

場所：札幌地下街オーロラスクエア

